

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

ヒントを手掛かりにクイズに答えて言葉を作れ！



## 帰ってきた学び舎あじまあ第2弾「ウォークラリー」



3月16日（土）、学び舎あじまあ特別編第2弾「ウォークラリー」が行われました。

今回の活動はウォークラリー。企画から運営まですべて琉大のお兄さん、お姉さん主導で進めてくれました。

まずは配られた地図と照らし合わせ、ヒントを見ながら旧大宜味小学校周辺に隠されたクイズを探します。次にクイズの答えをウォークラリーカードに書き出し、各クイズの答えの1文字を繋ぎ合わせて最後の答えを出します。

子ども達は琉大生と一緒にあじまあ思い出の地である海や川、ヤギ小屋や大兼久売店など（これらはヒントに隠されていました…）を歩いて巡り、クイズに答えていきました。

9つの場所をめくり最後に出てきた答えは…。学び舎あじまあにとって欠かせないものでした（答えは参加者だけの特権なので内緒です）。

お兄さんやお姉さんと遊びながらユンタクしながら各所をめぐり、満面の笑みでゴールの旧大宜味小学校に帰ってきた子ども達。グループで協力し合い、数々のクイズをクリアした子ども達はどの顔も達成感に満ち溢れていました。

ホッと

村内のホッとな活動をご紹介します♪

大宜味人の話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会までご連絡ください。

「小さな気遣いが地域を繋ぐ」

大宜味中学校の名城潤先生が津波のバス停に学級掲示用の週予定表を貼り出してくれています。潤先生は毎朝、津波のバス停でスクールバスを待つ子供達とそれを見守る地域の方を見ながら通勤しており、振替休日（月曜日）の時、子供達のいないバス停に地域の方が一人立っているのを見て、「今日は学校が休みだと知らないのでは？」だと思い、学級掲示用の週予定表をバス停に貼ったのがきっかけだそうです。

「バス停に週予定表があることで、生徒が一日の日程を確認することもできるし、地域の方にも学校の様子を知ってもらう事もできるから」と話してくれました。

地域の方からスクールバスを待ちながら学校のことについて話をするきっかけにもなっているという声も聞こえ、子ども達と地域と学校の「連携」にもなっているのかな？と感じています。

潤先生ありがとうございます！感謝です！！毎月、毎週の週予定表今年も継続よろしくをお願いします。



平成31年3月28日 吉田春子

平成31年度大宜味村育英会資金貸付募集についてお知らせ

大宜味村育英会では、村内に住所を有し、大学、短大、専門学校（高等専門学校含む）等に在学している者で、経済的な理由により修学困難な学生を対象に、平成31年度資金貸付奨学生を次のとおり募集します。

- 1 採用人員 3人程度
2 貸付金額 月額30,000円（県内・県外同額）
3 応募資格 (1) 大宜味村に住所を有し、現在大学、短大、専門学校等に在学している者で、経済的な理由で修学困難な者。
(2) 学業優秀、志操堅固であること。
(3) 家計上学資の支出が困難であること。
4 提出書類 ①大宜味村育英会資金貸付申請書
②在学証明書（平成31年4月1日以降に発行されたもの）
③住民票謄本 ④所得証明書（同一生計者全員分）
⑤その他必要な書類（村育英会にお問い合わせ下さい。）
5 受付期間 平成31年4月1日（月）～4月26日（金）午前9時～午後5時（土、日曜は除く）
6 提出先 大宜味村育英会（大宜味村教育委員会内） 〒905-1306 大宜味村字大宜味1番地
7 奨学生決定通知
貸与者の選考は、願書等の書類に基づき、村育英会役員会の審議を経て決定します。（6月上旬に本人宛通知します。）

※貸付、返還など詳細については教育委員会へ合わせ下さい。 ☎0980-44-3006

大宜味の子どものため… 故島袋晃さんより育英会に寄付金

3月19日（金）、故島袋晃さんのご家族から香典返しとして、村育英会に寄付がありました。

パワフルだった晃さんはさんがかつて指導主事として教育委員会に在籍しており、その際に現在も交流が続く福島県西会津町との「体験の翼」を立ち上げました。村の教育のため率先して動いてくれた晃さんの思いを受け継ぎ、村の子ども達のために役立てていきたいと思ひます。



平成31年度 海外短期留学生募集のお知らせ

English is an Indispensable TOOL!! Let's Speak English and See the World!!!

英語は必要な道具です!! 英語を話して、世界に挑戦!!!

募集期間：平成31年4月 1日（月）～4月24日（水）

留学期間：平成31年7月25日（木）～8月16日（金）

派遣先：アメリカ合衆国ワシントン州シアトル近郊

派遣対象：中学生、高校生の中から1名ずつ、計2名程度

説明会：平成31年4月19日（金）午後7時～ 役場第2会議室

費用等、詳しい内容につきましては大宜味村教育委員会までお問い合わせください

大宜味村教育委員会 ☎44-3006

村内小中学校・幼稚園・教育委員会 異動者 退職者

- 大宜味小
3年担任 金城晶子 先生（兼次小へ）
きらめき担任 座喜味直子 先生（安和小へ）
事務主管 渡具知喜文 先生（定年退職）
特別支援員 山城里枝子 先生（羽地小へ）
特別支援員 大湾生美 先生
栄養職員 大嶺夏生 先生
大宜味中
養護教諭 新垣裕子 先生（大宮中へ）
社会 吉本雄貴 先生（岩手県陸前高田中へ）
美術 有島りさ 先生（国頭中へ）
用務員 宮城さゆみさん
運転手 嵩原竹子 さん
幼稚園
預かり保育 嵩原竹子さん
教育委員会
村史編纂係長 藤田元也さん
教育相談員 前田悠嗣さん
給食センター調理員 宮城美枝子さん
（総務課へ）
これまで大宜味村の教育・子どもたちのために、ご尽力いただきありがとうございました。新天地での活躍をお祈りしております。





3月19日（火）、大宜味幼稚園において平成30年度大宜味幼稚園修了式が行われました。

16名の修了生は大きな声で返事をし、園長先生や来賓の方たちのお話も相手の顔を見てしっかりと聞いていました。宮城園長先生は「みなさんは幼稚園の生活を通してお話を聞けるようになりました。自分たちで工夫して遊べるようになりました。給食も時間内に食べられるようになりました。先生たちは自信を持ってみんなを小学校に送り出せます。小学校では幼稚園以上にいっぱい遊んで学んで大きくなって下さい」とエールを送りました。

小学校でもかがやきいっぱい、思いやりいっぱい、元気いっぱい楽しい毎日を過ごしてください。

### 3月19日 大宜味幼稚園修了式



- |      |       |      |      |      |       |
|------|-------|------|------|------|-------|
| 渡嘉敷海 | 平良千風  | 宮城重大 | 前田菜雪 | 宮城珠依 | 新城七翔  |
| 新垣 翔 | 新垣 悠  | 前田頼季 | 金城陽人 | 松本永琉 | 真喜志寧音 |
| 大城李才 | 真喜志陸杜 | 大嶺松士 | 屋我伸浩 |      |       |

男子12名、女子4名 計16名



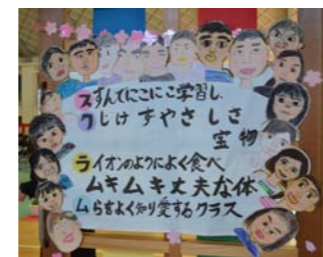
### 3月14日 大宜味小学校卒業式

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 島袋音々  | 島袋月菜  | 中井天斗  | 福地美楽惟 | 金城英城  |
| 藤田 雫  | 與那嶺りる | 溝川唯花  | 稲垣來星  | 宮城はち  |
| 宮城琉一斗 | 玉城美愛音 | 宮城心美  | 高澤瑛都  | 宮城力輝  |
| 金城吏勇  | 大城琉音  | 志良堂世奈 | 當間果夢  | 前田丈一郎 |

男子9名、女子11名 計20名

3月14日（木）、平成30年度大宜味小学校卒業式が行われました。

自分たちで作った世界で1枚だけの卒業証書を受け取った卒業生はどの顔も晴れ晴れとしており。上間校長先生は「明るい未来に向かって羽ばたけ卒業生！」とエールを送りました。



少人数ながらもこれまで最上級生として後輩たちを引っ張ってくれた6年生。頼もしいお兄さん、お姉さんとのお別れに在校生たち寂しくてたまらない様子でした。



### 3月9日 大宜味中学校卒業式

- |       |       |      |       |       |
|-------|-------|------|-------|-------|
| 大嶺拓真  | 山口栄智  | 平良悠翔 | 山城 心  | 知花 翔  |
| 花田悠馬  | 平良日菜多 | 宮城健大 | 山川瀬里葉 | 中井彩萌  |
| 福地想楽  | 上原風輝  | 外園華音 | 上地希空  | 吉本悠菜  |
| 與那嶺梨乃 | 新城太然  | 玉城優武 | 宮城太陽  | 川上 錬  |
| 玉城 楓  | 玉城憂人  | 宮城誠洋 | 宮本琴乃  | 新城はる乃 |
| 宮城千尋  | 辺土名勝人 | 玉城晴翔 | 我那覇広瀬 | 島袋琉磨  |
| 知花 光  |       |      |       |       |

男子19名、女子12名 計31名



3月9日（土）、平成30年度大宜味中学校卒業式が行われました。

学校の移転の時に入学した39期生。真新しい学校で自分たちで考えながら学校生活を作り上げ、学校と共に成長していきました。

卒業生を代表して平良日菜多さんは「楽しかった中学校を離れるのは寂しく、39期生のみんなと別れるのは悲しい。これまで楽しい学校生活が送れてこれたのはついてきてくれた後輩や支えてくれた先生方、見守ってくれた両親のおかげ。ありがとうございます」と答辞を述べました。



個性的なメンバーが集まった39期生。それぞれの力を発揮し、新天地での活躍を期待しています。



# 『田港字誌』編集委員会 参加報告！

3月10日（日）田港公民館にて「田港字誌編集委員会」が開催され、進捗状況の報告と今後の取り組みなどについての話し合いが行われました。現在予定しているもくじ（案）は、『田港集落の概況』からはじまり、『集落の起こり』や『教育』、『産業』、『ウンガミと伝統行事』など盛りだくさんの内容でした。田港といえば井泉や祠などの拝所が村内で最も多く、1673年には田港間切の主邑（しゅゆう）として番所が置かれるなど、歴史のある場所です。また、拝所の中でも重要な聖地とされる田港御嶽の希有な植物群落は、国の天然記念物に指定されています。委員会では、メーレー墓や終戦直後の初등학교などについて話が盛り上がりました。また那覇在住の田港郷友会のみなさんの熱意も感じられ、来年の発刊に向けて一丸となって取り組んでいく団結力が感じられ、来年が楽しみです。村民のみなさん、田港に関係するエピソードや古い写真などご家庭に眠っていましたら、ぜひご提供のほどよろしくお願い致します。



▲編集委員会の様子（田港公民館）



田港のウビナディ。田港のアサギに早朝神人たちが揃うと一部の人は東側の小川でウビナディを行う。  
（『親泊康哲写真集—アシャゲの遊び』（昭和50年発刊）



田港から屋古へ向かう神人たち。田港のアサギから踊り神を先頭に神人たちは次の村の屋古へ移動する。  
（『親泊康哲写真集—アシャゲの遊び』（昭和50年発刊）



▲本の内容について説明をする真喜志さん

## 地域史協議会設立40周年記念シンポジウム参加報告

去った3月1日、沖縄県立博物館・美術館に於いて“沖縄県地域史協議会設立40周年記念シンポジウム『辞令書や履歴書等から見える琉球・沖縄の地方役人』”が行われ、村史職員も勉強してきました。

基調講演『琉球辞令書に見る王国体勢』（高良倉吉：琉大名誉教授）／報告1『宮古・八重山の役人と百姓役目』（得能壽美：元石垣市史）／報告2『謹書（口上覚）にみる間切役人の動き』（仲原弘哲：今帰仁歴史文化センター元館長）／報告3『近代の諸制度の変遷から辞令書を読み解く』（金城善：糸満市立中央図書館元館長）の講演・報告が行われました。基調講演では、琉球辞令書は現在、古琉球（尚真王期-1609年）62件、過渡期（1609-1666年）31件、近世琉球（1667-1879年）117件、総数210件残存、これらの資料を通じて古琉球～近世における行政制度の運用と変遷についてのお話。いつもお世話になっている仲原先生の報告は、「間切役人の昇級過程や歴史的な出来事を勤職書・口上覚や明治の任命書から読み取ることができ、例えば間切役人になる前の奉公人の頃、王子の上国に随行した事、殿内の婚礼や祝い事への奉仕、間切ノ口火神や御嶽での「立願（タチウガン）」での世話役等々の精進を積み、それらを勤職（経歴）として記すことで間切役人に推薦され昇級していく過程がみえてくる」との内容で、とっつきにくい古文書でも、視点によっては昔の人の人間臭い面が見えて面白く読むことができると感心しました。

その他には八重山と本島の役人の位階や役職の違いなどが報告され、さすがは地域誌に長年携わってこられた方々だけあって、盛りだくさんの内容でした。



# 村史編さんだより

第96号 2019年4月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」保持者

## 前田國男展

—漆芸の探求と造形への挑戦—



▲前田國男氏と後方のオブジェ「海神祭」

### ～前田國男氏プロフィール～

- 1943(昭和18)年 大宜味村謝名城に生まれる
- 1962(昭和37)年 沖縄県立沖縄工業高等学校漆工科卒業
- 日本漆工協会より漆工奨学賞受賞
- 那覇市伝統工芸伝習生となる
- 紅房入社 堆錦技法を学ぶ
- 1963(昭和38)年 沖縄県立沖縄工業高等学校漆工科助手
- 1966(昭和41)年 日本漆工協会会員となる
- 1967(昭和42)年 沖縄うるし工芸会会員となる
- 1968(昭和43)年 沖展初出品初入選
- 1969(昭和44)年 兄の前田考允が主宰する前田漆芸アトリエ入房
- 1970(昭和45)年 沖展奨励賞受賞
- 1971(昭和46)年 沖展沖展賞受賞
- 1972(昭和47)年 沖展沖展賞受賞、準会員推挙
- 1975(昭和50)年 紅房再入社、漆の精製と朱塗の技術を学ぶ
- 1976(昭和51)年 沖展準会員賞受賞
- 1978(昭和53)年 沖展準会員賞受賞、会員推挙
- 1979(昭和54)年 沖展会員、審査員となる。
- 日本工芸会西部支部展初出品初入選
- 1980(昭和55)年 沖縄タイムス社芸術選奨奨励賞
- 琉球漆器研究会会員となる
- 日本工芸会西部支部展、沖展入選
- 1981(昭和56)年 日本工芸会西部支部展西部支部長賞受賞
- 1984(昭和59)年 第3回沖縄県現代美術展出品
- 1985(昭和60)年 郷里の大宜味村謝名城へ転居する
- 1986(昭和61)年 謝名城区長、沖縄県技術アドバイザーとなる
- 「大宜味展」運営委員～現在
- 1989(平成元年) 大宜味村工芸展「いぎみていくま会」設立に関わる
- 1990(平成2年) 大宜味村文化財保護委員となる
- 1994(平成6年) 大宜味村議会議員を3期務める
- 2018(平成30年) 宮城清氏、後間義雄氏、諸見由則氏と共に
- 沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」保持者に認定される

前田さんは謝名城の出身で、昨年5月に沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」保持者に認定されており、作品制作の傍ら、大宜味村文化財保護委員や大宜味村史編纂委員を兼任され、私たち村史編纂係も謝名城の拝所調査、方言調査、戦争疎開者の避難小屋への案内などお願いすると、いつも快くご協力いただき、日頃から幅広い分野で大変お世話になってます。

今回、『前田國男展—漆芸の探求と造形への挑戦—』（3/20～31）のご案内をいただき、村史編纂係3名も沖縄漆芸の聖地・浦添市美術館へ見学に行ってきました！

会場には30点以上の貴重な作品が展示され、どれも見事な出来栄に、訪れた人はうっとり見入っていました。また、会場入口に飾られている作品は、実際に触らせてもらい、重さや手触りを体感するとともに、本物の漆器は自然の臭いがあると教えてもらい、臭いをかいで本物を見分けるポイントも教えてもらいました。

前田さんは身近な自然や文化をテーマに独特な世界観の作品を創作されていて、シンプルなようでいて黒漆の色が映える形の花器や、メッセージ性・デザイン性が高いダイナミックな作品も多くあり、ずっと眺めていたいような気持ちになりました。こういう機会はなかなか無いので良い経験ができました。

### ～主な作品～



オブジェ「のびる」  
2009年  
12.0cm×10.5cm×45.0cm

曙棗  
1980年頃  
7.0cm×6.8cm

黒暈し塗棗  
1980年頃  
7.0cm×6.8cm



## 「しまふとうば」ぬくとう 39



うみがーみー

3月は年度末。学校関係では卒業式、職場関係では定年等の退職や人事異動などがあり、別れをイメージさせる寂しさが感じられる。

4月は年度始。学校関係では入学式、職場関係では新採用や人事異動などで新しい仲間の歓迎式・会などが行われ、新しい出会いのワクワク感がある。

新しい出会いはまた若者（若者だけとは限らないのだが・・・）にとっては恋の芽生えを感じさせられる時でもある。

「恋」が出たことで少しばかり飛躍して考えてみた。2つばかり紹介したい。

### 1つ目

八重山民謡で今や世界的にも有名になっている「トゥバラマ」という相聞歌がある。以前は男女が交互に即興で歌っていたそうで、多くの歌詞が残されている。ご存じの方もいると思うが、ある一首を紹介したい。

月（つくい）とう太陽（ていだ）とうや ゆめ道（みつい）通（とう）りょうる  
かめしゃま心（くくる）ん 一道（ぴとうみつい）ありたぼり

歌意：月と太陽は同じ道を通る。愛しいあなたの心も私と同じひとつ道であって欲しい。

男女の恋心を月と太陽の関係に例えたスケールの大きな歌である。八重山は自然を歌った歌が多い。

### 2つ目

先日、年を召された先輩から若い頃の恋心を相手に伝える、ほのぼのとするお話を伺った。ある男性が思いを寄せる女性へ自分の気持ちを伝えるために、小さな石を3個袋に包んで女性の家人に持たせたそうである。

その思いは“小さな石” → 小石 → 恋し である。

小石が3個なので「恋しい！恋しい！恋しい！」である。 ハメハメハメナー アギジャビヨイ。

小さな石に託された洒落た男性の告白を、女性のあなたはどのような形で返しますか？

多くの方がスマホを持ち、電波で会話するせわしい時代の今だからこそ“むかしんちゅ”の感覚を見つめ直し、取り戻し、小石などの身近な自然から月や太陽、宇宙という壮大な自然までを捉える感覚を意識したら如何かな若者たち！！（若者だけとは限らないのだが・・・）、と思ったりする。

## 今月の生きもの



## ダンダラテントウ：テントウムシ科

ポカポカ陽気、気持ちいいですね～。

こんにちは、私ダンダラテントウです。沖縄で普通に見られるテントウムシ。翅の斑紋が段模様なのでダンダラと言われてはいますが、とても変化に富んでいるので、さまざまな模様の仲間がいます。本州にいる仲間はほとんど黒かったりするんだって。私はアブラムシを食べるテントウムシの中でも一番の広食性。野菜を食害するアブラムシを食べる影のヒーローなんです。

## 4月の行事予定

1日（月） 区長会 体育協会評議員会	20日（土） おきなわ地域教育の日
2日（火） 学校職員辞令交付式	21日（日） 第41回塩屋湾一周トリムマソン大会
5日（金） いぎみていぐま展 ～7日	家庭の日
8日（月） 幼小中1学期始業式	24日（水） 小学校授業参観・学級保護者会
大宜味中学校入学式・新任式	避難訓練
辺土名高校入学式	25日（木） 小学校春の遠足・こいのぼり集会
9日（火） 大宜味小学校入学式	定例教育委員会会議
10日（水） 幼稚園入園式	26日（金） 5月区長会 春の遠足（幼稚園）
18日（木） 国頭地区PTA定期総会	29日（月） 昭和の日
19日（金） 鯉のぼり掲揚式 少年を守る日	30日（日） 国民の休日



大仏の日